

We Can 新聞

H29. 5. 25 第2号

大健闘！第十三回都道府県対抗全日本ソフトボール大会

先日、岡山県で全国中学生ソフトボール大会が行われました。福井県からはFSC(福井ソフトボールクラブ)が出場し、初戦は大分県選抜と対戦し25-10で大勝したものの、続く準決勝で岡山県選抜に2-3でおしくも敗れてしまいました。しかし、この岡山県選抜は過去に何度も優勝している強豪でも力のあるチームです。小さなミスが無ければ、完全に勝ち試合でした。一人ひとりのレベルは福井県の方が上でした。特にピッチャーの高木は全チームの中でもトップクラスの實力だったと思います。「FSCの桶師監督」の言葉からも分かるように中学世代の實力も十分に育ってきているようです。新たな課題を得た大会となったのではないのでしょうか。頑張れ！福井県勢！



FBCの選手たち



エース・高木投手

九州地方のソフトボールのレベルを痛感

国体強化事業で福井県少年男子チーム(高校生世代)はGWに長崎県に行きました。九州は北陸地方よりもソフトボールが盛んでどのチームもとてもレベルが高いチームでした。レベルが高いのは競技人口が多いという理由もあると思いますが勝ちたいという意欲がこちらの地域の同世代のチームよりも、はるかに高いからだと感じます。今年のGWの九州はとても暑かったです。それにも関わらず九州の選手たちは試合の合間などに時間があれば、とにかく走り込んでいました。そのため、体が大きい選手ばかりで、特に下半身が太い選手が多かったです。私たちも、もちろん走り込みやトレーニング、さらに監督には、衆を「一日七合食なさい」と指示を受け努力を積んでいるつもりですが日本一になるためにはさらなる努力が必要だと痛感しました。

Q & A コーナー

今月の選手



堀川 拳聖 啓新高校2年生

外野手
東藤島出身
将来の夢 スポーツトレーナー

Q 好きな言葉は何ですか？
A 「人間万事塞翁が馬」です。

この言葉は、簡単に言うとうと良い事があつた後には、悪い事がある。悪い事があつた後には、良い事がある。という意味です。自分は結果に対し一喜一憂してしまうことがあり、打てなかった後に切り替えができなかったり良いプレーが出た後などに度が過ぎた喜び力をしてしまいます。ですので、結果だけにこだわら過ぎず、なぜ打てなかったのかをしっかりと反省しつつ、次のプレーでしっかりと自分を出せるようになっていきたいです。

Q 今練習で一番大事にしている事は何か？
A アップです。私は監督からアップ隊長を任命されています。アップを仕切ったり新しい取り組みを発売したり盛り上げ役となったりします。その日の試合や練習に最高の状態で挑めるようにアップする事はとても大切な事だと思います。

Q アップでのポイントは何ですか？
A 私たちのアップで欠かせないのは音楽です。音楽がある事で、リラックスしてストレッチをする時は、ローテンポの静かな音楽、逆にテンションを上げて体を全力で動かしたい時はハイテンポのノリの音楽をかけます。二種類の音楽を上手く使ってテンポに合わせてダンスっぽく皆で一勢に同じ動きをしたり、個人的に体を動かす時間を設けたりしています。音楽を使って動きや雰囲気にもメリハリをつけたり、一体感を生み出します。このアップは、監督やメンタルコーチのアドバイスのもと、選手同士で試行錯誤し完成させました。

Q 音楽だけで声はなしですか？
A いえ、逆に音楽を利用することによって「声のアップ」も同時に行います。例えば、音楽ライブを想像してみてください。リズムに合わせて全力で声を出していますよね。心も体のアゲアゲ状態です。その状態で練習に入ると練習の質が良くなったり内容の濃い試合が実際にできています。



啓新高校 山崎監督

最近よく考えることがあります。国体優勝という目標を達成するために、いや、もっと深く言うと人生を変えるためには、今を基準に未来を考えることではなく、未来から今を逆算していくことが大切ではないのかと。選手には口癖のように言います。時間を無駄にしないでください。これは、この世には、成功する人や幸せになる人、お金持ちになる人、不幸になる人、貧乏になる人、犯罪者になる人、そして日本一になる人。様々な未来像がありますが、すべての人に平等に与えられている。時間の使い方を考えることが重要だと考えるからです。ソフトボールを通して未来に活力を！